

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,686	1.7	124	105.9	54	—	△15	—
25年3月期第2四半期	16,408	△4.0	60	—	△45	—	△80	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △201百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △313百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.02	—
25年3月期第2四半期	△10.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,222	7,305	37.1
25年3月期	19,230	7,579	38.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,125百万円 25年3月期 7,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,680	6.4	334	△18.3	113	—	5	—	0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	8,000,000株	25年3月期	8,000,000株
26年3月期2Q	291,711株	25年3月期	291,711株
26年3月期2Q	7,708,289株	25年3月期2Q	7,708,323株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済対策および金融政策への期待感により、円安・株高が進行し景気回復の動きが見られたものの、欧米の財政問題および新興国経済の減速などが引き続き景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、消費者の節約志向および低価格志向が続いていることに加え、円安による原材料価格の高騰により、厳しい経営環境が続きました。

また、コーヒー業界におきましても、コーヒー生豆相場が緩やかな下落傾向にあるものの、為替相場の影響等もあり先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である売上高500億円をめざす新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業拡大として「新規事業・新商品開発」「新規顧客開拓」「海外事業」に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,686百万円（前年同期比1.7%増加）となりました。利益面につきましては、売上高の増加および売上総利益率の上昇等により、営業利益は124百万円（前年同期比105.9%増加）、経常利益は54百万円（前年同期は45百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は15百万円（前年同期は80百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。なお、当連結会計年度期首より組織変更を行ったため、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① コーヒー・飲料部門

1) コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格は、需給緩和と生産国の通貨安の影響により緩やかに下落傾向が続いております。

販売袋数は前年同期と比べ減少いたしました。プレミアムコーヒーは順調に増加いたしました。また、外食産業およびコンビニエンスストアの新規開拓も行いましたが、コーヒー生豆相場下落の影響を受けて、コーヒー生豆の売上高は前年同期比17.0%減少いたしました。

2) コーヒー加工品

レギュラーコーヒーは、焙煎量およびコーヒーバッグの販売数量が順調に拡大いたしました。

インスタントコーヒーは、為替相場の影響によりコスト高となりましたが、飲料メーカー向け原料および家庭用袋入製品が増加いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比11.6%増加いたしました。

3) 飲料事業

茶類の売上高は、紅茶バルク商品が減少いたしました。緑茶・ウーロン茶バルク商品および穀物茶が順調に拡大いたしました。

飲料原料の売上高は、飲料メーカー向け原料の販売が伸び悩んだため、減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比6.8%増加いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は5,074百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、コーン等の野菜加工缶詰が減少いたしました。引き続きミカン・桃等のフルーツ缶詰が好調に推移したため、売上高は前年同期比8.0%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、オリーブオイルが好調に推移いたしました。パスタのシェアアップが進まず、売上高は前年同期比8.2%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比0.3%増加、冷凍食品の売上高は前年同期比2.3%減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビ加工品が生産地での病害発生による市場の品不足状況のなか、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が順調に進みました。また、主要顧客の取引も拡大することができました。その結果、売上高は前年同期比19.4%増加いたしました。

調理冷蔵は、タイ産チキンが入荷遅れのため代替品を販売したことによるコストアップ、その他の商品につきましては、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が進まず低迷いたしました。その結果、売上高は前年同期比1.9%減少いたしました。

3) 農産

農産は、外食チェーン店向けの加工品、食品メーカー向けのトマト原料、生鮮野菜の牛蒡は引き続き好調でしたが、レタス、梅および玉葱等は販売が伸び悩み、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が進まず低迷いたしました。その結果、売上高は前年同期比5.2%減少いたしました。

これらの理由により、食品部門の売上高は9,983百万円（前年同期比2.4%増加）となりました。

③ 海外事業部門

輸出は、円安基調を背景に欧州・東南アジアの既存輸出先が順調に回復いたしました。また、新規開拓、新商品の発掘および三国間貿易が業績に貢献したため、海外事業部門の売上高は1,628百万円（前年同期比21.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は19,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の減少となりました。これは主にたな卸資産の増加に対し、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債合計は11,917百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少に対し、借入金の増加によるものであります。

純資産合計は7,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払い77百万円および繰延ヘッジ損益の減少214百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、今後修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,674,576	2,402,849
受取手形及び売掛金	6,231,316	6,106,285
商品及び製品	3,239,651	3,709,406
未着商品	675,660	757,074
仕掛品	13,039	12,839
原材料及び貯蔵品	71,102	74,896
その他	426,236	384,031
貸倒引当金	△13,343	△7,444
流動資産合計	13,318,240	13,439,940
固定資産		
有形固定資産	2,830,885	2,782,167
無形固定資産	68,780	49,142
投資その他の資産		
投資有価証券	2,575,554	2,562,964
その他	535,328	505,847
貸倒引当金	△104,603	△121,719
投資その他の資産合計	3,006,280	2,947,092
固定資産合計	5,905,946	5,778,402
繰延資産	6,318	4,631
資産合計	19,230,505	19,222,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127,770	2,846,669
短期借入金	936,800	1,303,600
1年内償還予定の社債	180,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	1,498,800	1,646,800
未払法人税等	132,536	22,625
賞与引当金	125,487	142,361
その他	1,230,061	1,184,490
流動負債合計	7,231,456	7,306,546
固定負債		
社債	370,000	300,000
長期借入金	3,203,600	3,553,800
退職給付引当金	119,720	105,909
その他	726,158	651,644
固定負債合計	4,419,478	4,611,354
負債合計	11,650,934	11,917,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,320,170	6,227,490
自己株式	△107,415	△107,415
株主資本合計	7,192,955	7,100,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,481	50,291
繰延ヘッジ損益	163,475	△50,611
為替換算調整勘定	9,241	26,028
その他の包括利益累計額合計	205,198	25,708
少数株主持分	181,416	179,088
純資産合計	7,579,570	7,305,072
負債純資産合計	19,230,505	19,222,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,408,247	16,686,107
売上原価	14,420,451	14,633,159
売上総利益	1,987,796	2,052,947
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△11,418	11,435
報酬及び給料手当	498,585	480,216
賞与引当金繰入額	89,809	127,251
その他	1,350,517	1,309,880
販売費及び一般管理費合計	1,927,493	1,928,784
営業利益	60,302	124,163
営業外収益		
受取利息	2,683	2,162
受取配当金	1,877	2,654
受取賃貸料	11,700	11,100
その他	16,355	20,298
営業外収益合計	32,616	36,214
営業外費用		
支払利息	58,845	55,159
持分法による投資損失	66,599	35,230
その他	13,348	15,551
営業外費用合計	138,793	105,942
経常利益又は経常損失(△)	△45,874	54,436
特別利益		
投資有価証券売却益	—	165
特別利益合計	—	165
特別損失		
固定資産売却損	—	243
固定資産除却損	1,395	35
特別損失合計	1,395	279
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△47,269	54,322
法人税、住民税及び事業税	15,135	19,110
法人税等調整額	23,361	57,443
法人税等合計	38,496	76,554
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,766	△22,231
少数株主損失(△)	△5,724	△6,633
四半期純損失(△)	△80,042	△15,597

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,766	△22,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,483	5,720
繰延ヘッジ損益	△230,963	△214,086
為替換算調整勘定	83	16,786
持分法適用会社に対する持分相当額	6,863	12,089
その他の包括利益合計	△227,499	△179,489
四半期包括利益	△313,266	△201,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△307,541	△195,087
少数株主に係る四半期包括利益	△5,724	△6,633

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。